

Hospital 病院クローズアップ

国立病院機構

西別府病院



院長PROFILE

後藤 一也（ごとう・かずや）
1982年宮崎医科大学（現宮崎大学）医学部卒業。
2005年西別府病院統括診療部長、2007年同病院副院長を経て、
2015年同病院院長に就任。

常に研鑽し、患者さんのために最良の医療を提供
この地域になくはない病院を目指す

当院は神経難病、筋ジストロフィー、重症心身障害児（者）、結核といったセーフティネット系の医療が大きな診療の柱になっています。また、小児慢性疾患、血液疾患、呼吸器疾患なども加え、おもに慢性期の医療を提供し、運動器、心臓、呼吸器などのリハビリテーションにも力を入れています。

神経難病は、大分県の重症難病患者医療ネットワークの拠点病院として機能しています。重症心身障害児に関しては、全診療科があり、呼吸器管理をはじめとする医療度の高い重症心身障害の入院施設があります。筋ジストロフィーも当院の診療の柱で、入所見も多いです。筋ジストロフィーの入院患者さんは、高等学校あるいは成人期に人工呼吸器の装着をきっかけに入院されている方がほとんどです。

セーフティネット系の医療を診療の柱にしているとはいえ、神経内科や小児科など、その担当診療科だけがあれば成り立つのかというと、決してそうではありません。呼吸器、消化器、循環器、歯科、整形、多くの診療科が協力し合いながらケアしていくことで成り立つ医療だと思っています。人材育成とチーム医療は、これから力を入れていこうと考えている分野でもあります。

一方、当院のユニークな診療科として児童精神科というものがあります。小児慢性期の医師がいることも大きいのですが、児童精神科医が1名いて、併設している特別支援学校もあります。入院治療

をしながら通学できるという特色もありますので、学校と協働しながら、児童精神科の診療にあたることができます。臨床心理士も2名いて、児童精神障害、発達障害など、県下のニーズが高いジャンルに対応できる点も当院の特徴だと思います。

もう1つの特徴として「九州リンパ浮腫センター」や「スポーツ医学センター」などを開設しています。リンパ浮腫は長期に及ぶ疾患ですが、専門セラピストによるセルフケアを習得していただくために入院治療を行います。スポーツ医学センターは、外科的な面だけでなく、内科的な面からのアプローチもあわせて実施しています。

最後に若い先生方へのメッセージですが、当院はセーフティネット系医療を中心に、患者さん、あるいは、多職種との連携や協働の中で、チーム医療のリーダーとして医師の役割を遂行するという形を取っています。一見地味ではありますが、関わるほど面白さが感じられる医療分野だと思います。こういうジャンルに興味を持ってくれる医師が増えることを希望しますし、是非経験してほしいと思います。

入院や在宅医療を通じて重症化していく中、さまざまな医療技術が求められています。それはおそらく障害者の医療だけではなく、今後、日本が迎える高齢者医療にも還元できる内容だと考えます。当院のような医療の専門性を培うことで、総合診療医や在宅医療の分野にも役立つのではないのでしょうか。

西別府病院 DATA

■所在地

大分県別府市大字鶴見4548番地
<http://www.nbnh.jp>

■病床数

350床（一般病棟96床、重症心身障害児（者）病棟124床、筋ジストロフィー病棟80床、結核病棟50床）

■診療科目

内科／血液内科／精神科（小児）／神経内科／呼吸器科／循環器科／小児科／外科／整形外科／脳神経外科／皮膚科（休診）／婦人科（生殖・遺伝科）／リハビリテーション科／放射線科／歯科（入院患者のみ）

■研修の特色

1年目の研修では、大学院および協力型臨床研修病院で内科6カ月、外科3カ月、救急・麻酔・集中治療室3カ月の研修を行います。2年目の研修では、小児科、産婦人科、精神科、地域保健・医療に加え、希望する選択科を最長8カ月研修できます。複数の科を選択することも可能なので、将来希望する科に必要な診療知識を重点的に研修できます。



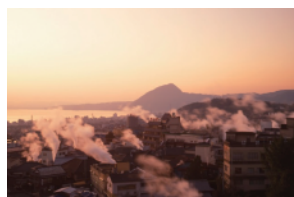
東病棟内観



無菌治療室



呼吸器リハビリチームの活動



鉄輪の湯煙

西別府病院のある街

別府市は言わずと知れた温泉地。マップを片手に温泉巡りも楽しい

別府市は大分県の東海岸中央に位置する。西には由布岳、鶴見岳を中心とした連山があり、また、大分百景の一つに選ばれている由布川峡谷、阿蘇くじゅう国立公園がある。東は別府湾に流れ込む朝見川などの河川により形成された扇状地と下流部の沖積平野からなる。

市内のあちこちで温泉が湧出、その源泉数は2,300カ所にもものぼる。源泉数、湧出量ともに日本一だ。別府の「地獄めぐり」は女性のバスガイドによる最初の案内が始まった観光地でもある。

別府八湯音泉道は、約140湯の共同温泉やホテル、旅館が参加。そのうちの88湯を巡ってスタン

プを集めると「別府八湯温泉道名人」の称号がもらえるそうだ。温泉を堪能したあとは「別府温泉絞り」を体験してみても。途絶えかけた別府絞りを復活させたいという地元の思いから始まった染め体験で、温泉の質で染めの色が変わり、さまざまなカラーやグラデーションが楽しめる。

100%地熱エネルギーの温泉を利用した「地獄蒸し工房 鉄輪」では、伝統的地獄蒸し料理を体験できる。「地獄蒸し」は温泉の噴気を利用した蒸し料理。甘みが凝縮され、余分な脂は落としてくれるのでとてもヘルシー。素材本来のおいしさを堪能できる。

